様式第２

損　益　計　算　書

事業者名＿＿＿＿＿＿＿＿

年　月　日から
年　月　日まで

（単位　円）

［Ⅰ～Ⅲ　略］

Ⅳ　営業外費用

［1　略］

2　リース負債に係る利息費用		×××	
3　社債利息		×××	
4　社債発行費償却		×××	
5　売上割引		×××	
6　雑支出		×××	×××

［略］

［(記載上の注意)　略］

［様式第３　略］

様式第４

個　別　注　記　表

事業者名＿＿＿＿＿＿＿＿

年　月　日から
年　月　日まで

［1～11　略］

12　リースに関する注記

［13～22　略］

(記載上の注意)

［1～13　略］

14　リースに関する注記は、次に掲げる事項とする。

⑴　次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定める事項（重要性の乏しいものを除く。）とする。ただし、会社法第440条第４項に規定する株式会社以外の事業者は、これらの事項の注記を要しない。

ア　借手である場合　次に掲げる事項

㈠　会計方針に関する情報

㈡　リース特有の取引に関する情報

㈢　当該事業年度及び翌事業年度以降のリースの金額を理解するための情報

様式第２

損　益　計　算　書

事業者名＿＿＿＿＿＿＿＿

年　月　日から
年　月　日まで

（単位　円）

［Ⅰ～Ⅲ　同左］

Ⅳ　営業外費用

［1　同左］

2　社債利息		×××	
3　社債発行費償却		×××	
4　売上割引		×××	
5　雑支出		×××	×××

［同左］

［(記載上の注意)　同左］

［様式第３　同左］

様式第４

個　別　注　記　表

事業者名＿＿＿＿＿＿＿＿

年　月　日から
年　月　日まで

［1～11　同左］

12　リースにより使用する固定資産に関する注記

［13～22　同左］

(記載上の注意)

［1～13　同左］

14　リースにより使用する固定資産に関する注記は、次に掲げる事項とする。

⑴　ファイナンス・リース取引の借主である事業者が当該ファイナンス・リース取引について通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理を行つていない場合におけるリース物件（固定資産に限る。以下同じ。）に関する事項。この場合において、当該リース物件の全部又は一部に係る次に掲げる事項（各リース物件について一括して注記する場合にあつては、一括して注記すべきリース物件に関する事項）を含めること。

ア　当該事業年度の末日における取得原価相当額

イ　当該事業年度の末日における減価償却累計額相当額